

# 地域懇談会を開催しました

## 重点事業や総合計画について懇談

6月19日から7月14日まで、市内14カ所の会場で、地域懇談会を開催しました。地域懇談会では、地域の皆さんと市長との間で、今年度に市が進める重点事業の内容や、まちづくりの指針となる総合計画について意見交換がなされました。今回は皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。

### 定住促進

マイホーム取得奨励金の実績は。

―毎年100件程度交付している。予算額では3,700万、800万円。2年間継続して実施している。2年前と比べ、新築件数が倍になっている。今後は、空き家対策も進めていく。

空き家対策について、地区に5戸空き家がある。放置しておくか、獣のすみかになってしまう。どのような対策を考えているか。

―現在、空き家調査をしており、住める・住めないなどの分類分けをしているところがある。住むことができる空き家については、不動産情報として、情報発信して良いか所  
有者に確認を取っている。市と地元事業者が協力して情報発信をしていきたい。住めなくて危険な空き家は、市に情報を提供していただければ所有者へ連絡する。

### 除染

山林・道路除染の状況について伺いたい。

―住宅から20メートル以内の生活圏の森林と市道の除染については今年中に終わらせたいと考えている。森林除染で出る可燃物の一時保管場所を、現在、整備している。道路除染で出るフレコンバッグは仮置き場に搬入させていた  
だきたいと考えている。

中間貯蔵施設への搬出状況について伺いたい。

―昨年、中間貯蔵施設へのパイロット輸送が始まった。昨年からは本輸送が始まっているが、中間貯蔵施設の整備が進んでいないので多くは搬出できない。中間貯蔵施設の早期完成と早急な搬出作業を、市長会などを通じて環境省へ要望していきたい。

家の裏に竹藪があり、住宅除染後も線量が高い。どうにかできないか。



―生活圏の森林除染についてはこれから連絡する。線量毎時0.23マイクロシーベルト以上であれば該当するので一度測定してほしい。不明な点はモニタリングセンターへ連絡してほしい。

中間貯蔵施設に搬出を完了した後の仮置き場の利用方法は。

―搬出完了後は、原則として原形復旧となっているが、地元住民からの要望があれば、残せるように環境省へ要望していきたい。個人の土地をお借りしているので、地主との合意形成も必要である。

### 仮設住宅

仮設住宅の今後の建物の利用はどのように考えている



のか。

― 恵向にある仮設住宅への集約を浪江町で進めており、今年度中に結論を出すことを目標としている。市も協力していきたい。建物の有効利用については考えているが、運搬・確認申請・浄化槽設置など費用がかかる。トータルでどれくらいかかるのか試算していないが、利用するかどうかを慎重に検討していきたい。

## 防災

自主防災組織の活動に対する助成は？

― 行政区への交付金に自主防災組織割分として上乗せして交付する。交付のための要件は、①自主防災組織が設立されていること ②初期消火訓練、救急救命講習会などの防災訓練を実施することである。交付額は、町内会の加入世帯で金額が変わり、1〜100世帯は1万5千円、101〜200世帯は3万円、201世帯以上は4万5千円が交付される。

## 防犯

幹線道路に防犯カメラを設置してはどうか。

― 幼稚園・保育所・小中学校へ防犯カメラを設置したり、公用車や消防団の車両にドライブレコーダーの設置を進めている。カメラを特別に設置しなければならぬ場所があれば知らせてほしい。

不審者対策として、通学路を中心に街灯を増やしてもらえないか。



― 昨年度、防犯協会から要望を受け、市内の要望箇所に防犯灯を40灯設置している。そのほか、昨年から3年計画で、通学路を中心に年間80灯設置している。足りなければ、継続して設置する。また、街灯が壊れたところは、LEDに切り替えていく。

## 河川整備

川の堤防に桜並木を整備するなどしてほしい。

― 堤防に樹木を植えることは法的に難しい。堤防から離れた場所を探さなくてはいけない。地域住民と考えていきたい。下高木に築堤の土を仮置きしている場所があるので、樹木を植えられるか国土交通省と話をしたい。

## 道路整備

館ノ越・関根線（本宮小グランド北側）の道幅が狭いので拡幅してほしい。

― 昨年予算を付け、概略設計まで進んでいる。拡幅によりグラウンドが狭くなる可能性